

◎平成29年度社会人聴講生受け入れ対象科目の内容

番号	科目	期間	内容
1	国語表現	通年	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図ることを目的としています。高校生とのグループワーク、作文、プレゼンテーション、「話す」ことに関わる活動を含みます。
2	世界史A	通年	近現代を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解させ、現代の諸課題を歴史的観点から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養います。
3	世界史B	通年	現代の世界が歴史的に形成されていく過程を知ることを目標としています。また、世界の各文化圏の特色を理解し、現代世界のいろいろな問題を理解するための歴史的知識を得るとともに、歴史的思考力を養います。
4	日本史A	通年	日本の近代の歴史を地理的条件や世界の歴史と関連付けて学び、また現代の諸課題に着目しながら考察することで、歴史的な思考力を培い、国際社会に生きる人間としての自覚と資質を養います。
5	日本史B	通年	日本史Bは日本の成り立ちから近・現代までの時代について学習をします。歴史の流れに沿って、その全体像を概観していく授業展開となります。国際化のなかで、わが国の歴史について基本的な事柄を十分に理解しておくことは大変重要となっています。
6	地理A	通年	現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景の関連を踏まえた上で、地理的な見方、考え方を培い、国際社会に生きる日本国民としての自覚と資質を養います。
7	地理B	通年	現代世界の地理的な事象を系統的・地誌的に歴史背景も踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに地理的な方法論を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養うことを目的としています。
8	郷土史かながわ	前期	郷土の身近な文化財への理解を深めることにより、郷土の歴史に対する興味・関心を養い、あわせて歴史的な思考力を深めます。
9	近現代と神奈川	後期	近現代史を中心とする我が国の歴史展開を、世界史的視点と郷土史的視点に立って学習する。神奈川県内の文化財や神奈川県ゆかりの人物を交えながら、近現代史に対する興味・関心を養い、あわせて歴史的思考力を深めます。
10	世界史特論	通年	世界史通史の基本的事項は理解していることを前提に、問題演習に取り組み、知識の定着を図る。歴史的な事象と事象の関係や意味を理解しながら歴史を考えるようにします。
11	日本史特論	通年	日本史全体の基本的な事柄を理解していることを前提にして、個々の歴史的な事象の関係や意味についてテーマ史ごとに取組み、さらに知識の確実な定着を図ります。
12	現代社会	通年	現代社会が抱える諸課題について学習し理解していく。また、将来、良識ある公民として主体的に学び、考え、判断できる力を養っていきます。
13	倫理	通年	物事を根本から考える方法を学ぶ中で、各自の人生観、世界観を深化させることを目指します。
14	政治・経済	通年	政治については、日本国憲法の基本原理など民主政治の基本原理から、現代の政治の諸課題についての考察まで幅広く学習していきます。 経済については、経済主体と経済活動・景気変動と経済政策など資本主義経済の基本的なしくみと現代経済の諸課題について幅広く学習していきます。 できるだけ具体的な事例をあげ、実践的な学習を心掛けます。
15	数学Ⅰ	通年	数学Ⅰは、あらゆる高校数学に基礎・基本となる科目であり、次の内容で構成されています。「方程式と不等式」においては、文字式の基本的な計算から始めて、有理数と無理数からなる実数について、そして1次方程式や2次方程式についてさらに学びます。「2次関数」では、中学校の学習を発展させて、グラフを使い2次関数の様々な特徴を学びます。また、それに関連して2次方程式、2次不等式についても学びます。「図形と計算」では、まず測量などに利用されている三角比について学び、図形の辺の長さや角の大きさ、面積などを調べます。また、立体の体積や面積なども学習します。
16	数学Ⅱ	通年	数学Ⅱは、数学Ⅰの発展として、主として関数を幅広く扱い、微分積分の基本を学びます。数学Ⅰを履修済みであることが望ましいです。一層広い数学の素養を身につけながら、基礎的な知識の習得と技能習熟を図ることをねらいとした科目です。また、さらに進んで数学Ⅲを選択して履修するための基礎となる科目です。 「図形と方程式」では、直線や円などの図形の処理に数式を利用することを学ぶと共に、その有用性を学習します。「三角関数」では、数学Ⅰで学んだ三角比を基礎にして、角度を拡張して三角関数の概念を学びます。三角関数の加法定理は数学Ⅲや数学B、数学Cへ発展する内容のもので、「指数関数と対数関数」では、数の累乗の定義を拡張して、指数関数の概念を学習し、次に対数を定義し、対数の性質を導き、それを使って計算できるようにします。「微分と積分」は、これまで学んできた1次・2次関数の内容をさらに発展させて、微分係数・導関数などを学び、関数の値の変化を細分化することにより3次関数を学習します。

17	数学Ⅲ	通年	<p>数学Ⅲは数学Ⅱに続いて、更に微分積分の学習を深めるための科目です。数学Ⅰ、Ⅱを履修済みであることが望ましいです。</p> <p>「極限」では、微分法・積分法の基礎となる極限の概念を理解し、それを数列や関数値の極限の考察に活用できるようにします。数学Ⅱの微分積分では、整関数(<math>x</math>の<math>n</math>乗の形の関数)のみを対象にしましたが、数学Ⅲでは、より広い関数を対象として扱います。たとえば、三角関数、指数関数、対数関数などです。また、微分は顕微鏡で関数の性質を調べることに相当し、積分は細かく分割した関数を寄せ集めて全体像を構築することになる等の概念を学びます。計算力は、あらゆる場面で要求されます。計算を面倒がらずにできる人が理解も深まります。これらはいずれも、数学の分野のみならず、さまざまな現象を考察するのに欠かせない重要な道具になります。</p>
18	数学A	通年	<p>具体的な事象を数学的に処理する力を養い、社会生活に必要な「直観的な判断力」や「論理的な思考法」の利用法を学びます。数学Ⅰを履修済みか、数学Ⅰを並行履修していることが望ましいです。</p> <p>前期「集合と理論」では、集合の基本的な事項を理解した後に、自己の考えを伝えるために生まれた論理と集合を結びつけて理解を深めます。</p> <p>後期「場合の数と確率」では、具体的な事象の考察を通して、順列・組み合わせや確率について理解し、実生活の中で応用できるようにします。「平面図形」では、三角形や円について基本的な図形の性質を理解し、図形の中の構造を直観的に見出し、論理的に問題解決ができるようにします。</p>
19	数学B	通年	<p>数学Ⅰ、数学Aで学習したことを基礎に、さらに進んだ数学の分野について基礎的な知識の習得と技術の習熟を図ります。数学Ⅰを履修済みであることが望ましいです。</p> <p>前期は規則正しく並んだ数の列について学習します。1つの数列を自然数を定義域とする関数とみなしたとき、それがどのような式で表せるかを考えます。また、等差数列や等比数列などの数列の和を求めたり、数学的帰納法という自然数の性質を利用した証明方法について学習します。</p> <p>後期は力や速度のように「向き」と「大きさ」をもつ量、すなわちベクトルについて学習します。ベクトルの概念は、力学や電磁気学の中で発展し、現代の数学においても重要な概念の一つとなっています。ここでは、和や差などのベクトルの計算について学習し、平面や空間における図形の問題に応用します。</p>

20	物理基礎	通年	物理の基本的な概念や原理・法則を理解することから始めます。観察や実習などを通して「物理学」とはなにか、物体の運動、波の性質、電気、エネルギーとその利用などについて学びます。物理での計算は数学計算の応用です。文章読解力と数学の力が必要です。
21	化学基礎	通年	自然に対する関心や探究心を高めるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解することを目標にしています。化学の役割、原子の構造、化学反応などを日常生活や社会と関連づけて学びます。1年次生を中心に授業を展開します。
22	生物基礎	通年	「生物」や「発展生物」の履修を考えている1年次生を主な対象として行います。実生活に有益な、遺伝子、健康、環境等に関わる基礎基本を学びます。 ○前期 生物の特徴・遺伝子とそのはたらき ○後期 生物の体内環境の維持・生物の多様性と生態系
23	地学基礎	通年	日常生活や社会との関連を図りながら、宇宙の誕生から現在の地球に至るまでを時間的・空間的な広がりの中でとらえ、観察や実験を行いながら、地学の基礎的な概念や原理・法則を学びます。 ○前期 宇宙の進化・太陽と惑星・地球の変遷と生物進化・地層や岩石の観察 ○後期 わたしたちの地球・地震、火山・大気と海洋・私たちの地球のこれから
24	物理	通年	この科目では、電気、力と運動、エネルギー、波動など日常的な事象を中心に学びます。これらは物理学のもっとも基礎的部分であり、その内容は私たちの身のまわりに起こる現象にも深い関係をもっています。物理基礎を履修済みであることが望ましいです。 ○前期 さまざまな運動、波 ○後期 電気と磁気、原子、物理学が築く未来
25	化学	通年	化学基礎を履修済みであることが望ましいです。化学的な事物・現象についての観察・実験を行い、自然に対する関心や探究心を高めます。基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を養っていきます。 ○前期 物質の状態と平衡、物質の変化と平衡について、基本的な概念や法則を通じて学習します。 ○後期 無機物質、有機化合物について、構造や性質、反応性などについて学習します。
26	生物	通年	生物基礎を履修済みであることが望ましいです。生物や生物現象に対する探求心を高め、実験操作法を習得し、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成します。 ○前期 生命現象と物質、遺伝子のはたらき、生殖と発生 ○後期 生物の環境応答、生態と環境、生物の進化と系統
27	地学	通年	地学基礎を履修済みであることが望ましいです。地学的な物事・現象の事例研究を通し、宇宙や地球、地球環境の変化について理解を深めます。 ○前期 地球の構造と内部のエネルギー、地球の活動、地球の大気と海洋 ○後期 地球表層の水の動きと役割、地球の環境と歴史、宇宙の構造
28	スペイン語入門	通年	初歩的な会話を、スペイン語のできるようになります。
29	コミュニケーション・トレーニング	前期	自分自身を見つめ、開示することにより、自己肯定感の向上を促すとともに、他者を尊重する態度を養う。課題解決や合意形成のスキルを学習し、協働に効果的なコミュニケーション能力を高めます。